訓練 弟子たち 修行

セッション 23: 弟子制度は関係性(10c)

ロン・ライブリー M.Div., M.A. による提供 – BiblicalMentoring.org(研究)

ステップ1:開会の祈り

ステップ2: 各人がその記憶の節を引用します: ヴァース: **エペソ人への手紙4章25～27節**

25 ですから、偽りを捨てたなら、皆が隣人と真実を語りなさい。なぜなら、私たちは互いの一員だからである。26 怒りを覚えて、罪を犯してはならない。
怒りに日が沈むな、27、悪魔に決してチャンスを与えない。

ステップ3: *聖書の章の全部または一部を読み、議論してください* - **エペソ人への手紙 4章**
リンク: https://www.biblegateway.com/passage/?search=Ephesians%204&version=ESV

ステップ4: 個人応募やグループディスカッションに関する質問:

一. このセッションでは、忍耐と誠実さの資質について取り上げます。
忍耐:忍耐とは怒りを抑えるのが遅いことです。それは弟子を作る者のトレードマークです。

二. 弟子や訓練者が神性を育むには、キルストのような忍耐と時間が必要です。つまり、彼らがあなたの中に見なければならないイエスのようになるためには。

三. 正直さ:弟子たちに完璧さを期待すべきではありません。私たちは誠実さを期待すべきです。

四. もしあなたが親密に自分の苦しみや夢を分かち合えば、弟子たちはそれぞれの苦しみや痛みだけでなく、勝利や夢も分かち合い始めるでしょう。

五. 研修生の話に熱心に耳を傾け、本当に彼らを大切に思っていることを示します。しかし、自分自身に夢中になっていると、まったく逆のことを伝えてしまうでしょう。

ステップ5: *本書の内容を読み、議論してください:*
第10c章 著者による – キース・フィリップス:

忍耐

忍耐とは、怒りを抑えるのが遅いことを意味します。それは行動への信仰であり、無関心ではありません。忍耐は、神の基準を損なうことなく弟子に恵みを差し伸べることを促します。それは苦しみを防ぎます。忍耐は弟子を作る者のトレードマークです。

イエスは、歩みの一歩ごとに促され励まされる必要がある資格のない人々から始めました。弟子たちが敬虔な人格を育むには長い時間がかかりましたが、主は彼らがご自身のようになるまで働き続けてくださいました。主は決して彼らを見捨てませんでした。彼はヤコブとヨハネの軽率さ、ペテロの移り気、トマスの疑念に耐えました。それが忍耐でした。神はご自分の子どもたちにも同じキリストのような忍耐を与えると約束されています(ローマ15:5)。弟子を作る者は神の時と導きを待たなければなりません。あなたの弟子は人を恐れたり、変化に抵抗したり、優先事項に苦しんだりするかもしれません。これらの障害は、彼があなたを見守り、聖霊が彼の人生で働いていることで克服できます。しかし、あなたは忍耐強くなければなりません。弟子を作るには長い時間がかかります。ゲットーでは、ある人と友情を築くのに6か月、その人がキリストへの誓いを結ぶまでにさらに6か月かかることもあります。私たちはこの新しい信者を育てるために1年、さらに3年かけて彼を繁殖できるまで弟子訓練することもあります。それでも、もし一人の人が繁殖する弟子になるなら、5年間の投資はその努力に十分見合うものです。

私たちが初めてヴァージルに会ったのは、彼がロサンゼルスで私たちの女性スタッフの家の窓を割り、強盗した直後のことでした。それは7年前のことです。今日、彼は他者を弟子として訓練しています。スタッフの誰一人として、この時間をかけたことを後悔していません。私たちの多くは、後にキリストを拒絶した人々のために祈り、時間を捧げてきました。しかし、私たちは落胆しません。私たちは前に進み続けます。「神ご自身が私たちにこの素晴らしい働きを与えてくださったので、私たちは決して諦めません。なぜ物事がこうなるのか分からず困惑しますが、諦めたりはしません。打ちのめされても、また立ち上がり、前に進み続けます」(コリント人への第二の手紙4章1節8節9節 LB)。懐疑心や反対心が、弟子に投資する決意を妨げるべきではありません。忍耐が試されたとき、ピリピ人への手紙1章6節を引用して、神の主権への信仰を確かめてください。「わたしはこのことを確信しています。あなたがたの中で良い働きを始めた方が、それをキリスト・イエスの日まで完成させられるからです。」

正直さ

健全な関係の基盤は正直なコミュニケーションです。それはお互いへのコミットメントと、透明性があなた自身のためであるという認識に基づいています。エペソ4章25節は、嘘を捨てて真実を語るように教えています。あなたと弟子が率直にコミュニケーションを取らなければ、関係は成長しません。お互いのニーズや感情を理解しなければなりません。パートナーが完璧であることを期待せず、ただ正直で誠実であることを期待してください。弟子関係の親密さほど誠実さを育むものは私にはないと私は知っています。多くの信者は自分の苦悩や不安を打ち明けることを恥じ、最も個人的な重荷が噂話に変わってしまうのを恐れています。しかし弟子は、あなたが彼の評判を守ることを知っています。彼はあなたの愛に自信を持って何でも話すことができます。"…完璧な愛は恐怖を追い払う…」(ヨハネ第一4章18節)私たちが「光の中を歩むことができるように……」(ヨハネ第一1章7節)弟子は、たとえ気が乗らないときであっても、自分の体や彼の働きに影響を与える可能性のあるあらゆることを伝えなければなりません。自分自身を伝え、耳を傾け、批判に心を開くことで、生徒の正直さを促してください。

自分を伝えましょう。

もしあなたが自分の苦労や傷つき、失望、そして勝利や夢、達成したことを正直に共有すれば、弟子もすぐに自分のものも共有するでしょう。もし間違いを犯したら認めてください。ただし、常に王国を築き、彼の人格を強化することを念頭に置いて行動してください。あなたのオープンさは、「私は教えられるし、あなたを信頼している」と伝えます。それは誠実なコミュニケーションを促します。数年前、ジョーンは立派な男性と親しい友情を築きました。人々は結婚するだろうと思い込んでいましたが、神は関係を追求すべきではないと示しました。ジョーンのティーンエイジャーの聖書学生たちは、なぜ関係が終わったのか、彼女がどう感じているのかを知りたがっていました。辛かったにもかかわらず、ジョーンは神が教えてくださった原則を繰り返し練習し、苦しみーー傷つき、孤独、そして独身であることへの恐怖ーーを打ち明けました。娘たちは彼女の率直さに驚いていました。ジョーンは彼女たちに、自分を支えることを信頼していました!その危機の際、ジョアンの透明性は娘たちへの愛を力強く伝えました。これにより、彼女たちは自分の苦しみを分かち合う自由を得ました。神がジョアンの人生で働いている様子を見ることで、彼らは神が自分たちの必要を満たす力を確信するようになりました。現在、そのうち4人は機能する弟子です。しかし、破壊的な情報の提供によって弟子の尊敬を失ってはいけません。未熟なクリスチャンの中には、リーダーの失敗のせいでつまずいたり罪を正当化したりする人もいます。また、リーダーが弱く見えると不安になったり、信頼を失ったりする人もいます。何かを共有することに疑いがあるなら、まずリーダーたちに確認してください。弟子にあなたの深い悩みをあまりにも多く抱えさせることを期待するのは不公平です。たとえ純粋で真実であっても、過剰なコミュニケーションは彼を誇りに思ったり落胆させたりすることがあります。イエスは弟子たちに言いました。「まだあなたに言いたいことがたくさんありますが、今はそれを耐えられません」(ヨハネ16:12)。何を、どれだけ分かち合うべきかについて、神の導きに敏感でいてください。

聞いてくれ。

弟子があなたに話しかけてきたとき、彼の話に集中してください。あなたの全神経な注意は、あなたが気にかけていることの証です。彼の考えに熱心に耳を傾ける代わりに、どう返答するかに気を取られていれば、興味がないことを伝えてしまいます。非言語的・言語的肯定の両方で理解していることを示してください。彼の心を開くことを促すような、鋭い質問を投げかけてください。しかし、彼の話を遮らないでください。「賢人は口をつぐむ…」(箴言10章14節 LB)

建設的な批評にも心を開きましょう。

建設的な批評を促して弟子への信頼を示しましょう。弟子が批判を述べるときは注意深く耳を傾けてください。彼の考えを考えてみてください。彼はあなたの長所と短所を映し出し、あなたの性格が意図していないことを投影していることについて啓発するユニークな立場にあります。自分の過ちを謝り、それを正すために努力するという決意を表明しましょう。定期的に弟子に相談し、彼が指摘した弱点が改善しているか確認しましょう。彼の関心に感謝しましょう。「正当な批判を受け入れることは名誉の証です」(箴言25章12節 LB)。ロサンゼルスの女性部門ディレクター、メアリー・ティーセンは才能ある教師です。彼女は弟子たちの教えを批評することで、自分の技術を伝えるために懸命に努力しています。しかし最近、マリアの弟子の一人が問題を持ちかけてきました。「あなたの訂正を聞くと、私はとても緊張し、あなたがいるとうまく教えることができません。」マリアはこの建設的な批判を寛大に受け入れ、今では改善の提案に弟子の功績への正直な賛美を加えています。マリアの率直さは二人の関係を強めました。批判を与えたり受けたりする唯一の条件は、それが責任ある、誠実であって、破壊的でないことです。お互いにゲームをしてはいけません。冗談を言ったり、相手の不満を払拭しようとしたりしてはいけません。イエスはこう警告しました。「…人が口にするあらゆる軽率な言葉は、審判の日に必ず責任を負うであろう」(マタイ12:36)。もし批判が感情的に激しいものであれば、後で会う時間を決めて、二人で状況をよく考えましょう。ヤコブ1章19節はこう教えています。「…しかし、皆が聞くのが早い、話すのが遅く、怒りを抑えなさい。」もし関係に対立が個人的な意見や好みから生じるなら、耳を傾け、話し合いましょう。思いやりを持ち、柔軟であいましょう。ペテロ第一4章8節には「何よりも、互いへの愛を熱心に保ちなさい。愛は多くの罪を覆い隠すからです」とあります。お互いが神の御心を求めていれば、意見の違いを解決している間でも、結束することができます。「性格の衝突」という名目で決して諦めてはいけません。あたかも、そのような問題が乗り越えられないかのように扱われるのです。難しい人間関係は私たちを清め、鋭くします(箴言27章17節)。弟子があなたを訂正する自由があると知るとき、彼は耳を傾け、その訂正に従って行動します。箴言15章31節はこう約束しています。「命を与える叱責に耳を傾ける者は、賢い者の中に住む。」

pp.109-113

ステップ6: *個人的な祈りの願いを共有し、それぞれが相手の願いのために祈ります。*

出典:キース・フィリップス博士著『The Making of a Disciple』。フレミング・H・レヴェル社出版、1981年。ISBN 0-8007-1181-5。ロバート・E・コールマンによる序文。内容(学習問題を除く)は本書から改訂なしで引用しています。

改訂20261123